

I 地域別の施策の方向性

「本編 (P9～P136)」では、望ましい石川の目指すべき将来像の実現に向けた、県全体での施策を、全分野網羅的に示しました。

ここでは、人口減少、少子高齢化が進行し、地域間競争が激化する中で、地域固有の資源等の特性を活かした地域づくりを進める観点から、各地域における施策の方向性を整理しました。

【地域区分について】

地域区分については、県民の様々な暮らしや社会経済活動の分野に応じて、その捉え方が、小さな集落単位のものから、県域を越えた広域的なものまで、多様な広がりを持ちますので、弾力的に捉える必要がありますが、ここでは、近年の市町村合併、道路整備の進捗状況や各行政分野の実行計画における地域区分等を勘案し、一例として、県内を以下の4地域に区分し整理しました。

1. 能登北部地域(2市2町) 輪島市、珠洲市、穴水町、能登町からなる地域
2. 能登中部地域(2市3町) 七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町からなる地域
3. 石川中央地域(3市3町) 金沢市、かほく市、白山市、野々市町、津幡町、内灘町からなる地域
4. 加賀南部地域(3市1町) 小松市、加賀市、能美市、川北町からなる地域

【記載にあたって】

ここでは、地域の特徴を踏まえて進めるべき主な施策の方向性を記載しています。

このため、地域を問わず一定の水準の確保が必要である教育や治安等の分野や、一地域にあっても県全体の課題と位置づける施策については、基本的に記載しておりません。

また、今後、本構想に基づき検討される施策についても記載しておりません。

【現在住んでいる地域の満足度】(県民意識調査による)

●県民意識調査の概要

調査の目的 「石川県新長期構想」の改定に当たり、県民の意向等を県政に反映させるため、県民生活の現状と県政に対する県民の望む方向を把握することを目的として実施。

調査期間 平成18年8月25日～9月11日

調査地域 石川県全域(19市町)

調査対象 20歳以上の男女

標本抽出法 選挙人名簿から無作為抽出

調査方法 調査票を郵送により配布・回収

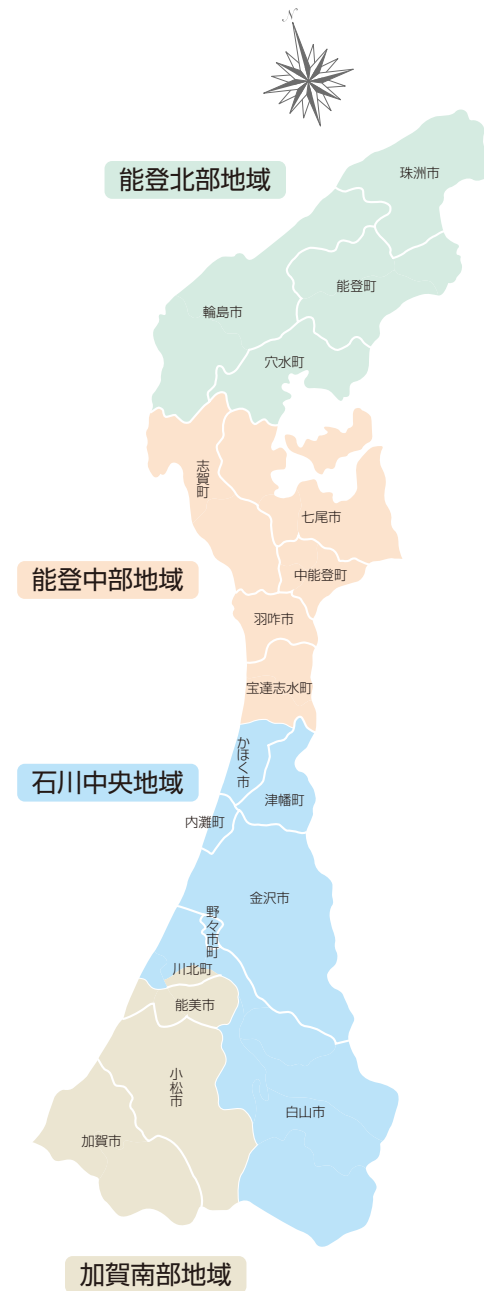
標本数 4000件

有効回収数 1933件(回収率:48.3%)

調査項目 調査項目については、

- ①「住みやすさ」といった前回調査(H8)からの意識の変化の把握が重要と考えられるもの
- ②論点整理等を踏まえつつ長期構想に新たに盛り込む施策の方向性を確認することが必要なものといった観点から「少子・高齢化」、「安全・安心」、「産業」、「北陸新幹線」など合わせて35の質問を設定。

【地域区分と主要データ】



	能登北部地域	能登中部地域	石川中央地域	加賀南部地域	県平均(県合計)
人口(単位:人)					
現在人口(2005国勢調査)					
総人口	83,214	144,373	709,489	236,950	1,174,026
(構成比)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
年少人口	8,727	18,582	103,319	35,547	166,175
(構成比)	(10%)	(13%)	(15%)	(15%)	(14%)
生産年齢人口	44,749	86,261	479,108	151,139	761,257
(構成比)	(54%)	(60%)	(68%)	(64%)	(65%)
老年人口	29,738	39,523	126,400	50,078	245,739
(構成比)	(36%)	(27%)	(18%)	(21%)	(21%)
県全体での人口構成比	7.1%	12.3%	60.4%	20.2%	100.0%
将来人口(2015予測)					
総人口	66,239	124,873	706,964	231,985	1,130,057
(構成比)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
対2005年比	▲20%	▲14%	▲0%	▲2%	▲4%
年少人口	5,541	13,813	93,907	32,184	145,443
(構成比)	(8%)	(11%)	(13%)	(14%)	(13%)
対2005年比	▲37%	▲26%	▲9%	▲9%	▲12%
生産年齢人口	31,545	67,347	440,823	136,866	676,579
(構成比)	(48%)	(54%)	(62%)	(59%)	(60%)
対2005年比	▲30%	▲22%	▲8%	▲9%	▲11%
老年人口	29,152	43,713	172,237	62,935	308,035
(構成比)	(44%)	(35%)	(24%)	(27%)	(27%)
対2005年比	▲2%	+11%	+36%	+26%	+25%
県全体での人口構成比	5.9%	11.1%	62.6%	20.5%	100.0%
地域					
観光入り込み客数(H17年度末)	7,271		7,619	5,507	20,397
[単位:千人、(対前年比)]	(94%)		(104%)	(100%)	(98%)
産業					
事業所数(H17暦年)	4,379	6,934	31,368	11,551	54,232
第1次産業	69	45	85	27	226
第2次産業	1,359	2,376	8,649	4,640	17,024
第3次産業	4,028	6,167	29,825	9,021	36,982
一人当たりの付加価値額[鉱工業](万円、H17暦年)	507	1,052	916	964	929
有効求人倍率(H18.12:原数値)	0.54	1.14	1.67		1.53
暮らし					
病院における医師充足率(%、H16.4現在)	81.5	105.3	138.4	106.8	125.5
小児科医師数の割合・小児10万人当たりで全国を100とした場合(%、H16.12現在)	63.5	72.2	136.0	77.4	112.4
産科医師数の割合・出生者10万人当たりで全国を100とした場合(%、H16.12現在)	65.9	86.9	133.2	96.4	117.8
一般世帯数に占める高齢世帯の割合(%、H17.10現在)	30.4	20.8	13.6	15.6	15.9

1. 能登北部地域(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

能登北部では2015年の人口が対2005年比で20%減と推定されており、この地域の活力を維持向上させていくためには、交流人口を拡大することが重要な対策の一つとなっています。

このため、九十九湾の海岸線、いしる(いしり)などの食文化、輪島塗などの地場産品、キリコ祭りや朝市など、豊かな自然や地域に根ざした生活文化を保存・継承するとともに、観光資源として磨きをかけ、観光ブランドの確立や情報発信などにより観光振興を図ります。

また、能登空港の機能拡充をはじめ能越自動車道輪島道路、珠洲道路、国道249号など「ダブルラダー結いの道」整備構想の着実な推進により交通基盤の機能維持・向上を図り、交流人口の拡大を進めます。

さらに、集落の存続に不可欠な働く場の確保を図るため、企業誘致やアグリビジネスの起業化を促進するとともに、多様な資源や既存施設を活用したグリーン・ツーリズム等による都市と農山漁村との交流の促進を図ります。加えて、奥能登ウェルカムプロジェクト戦略研究会の検討を踏まえた広域連携事業や地元のまちづくりと連携した目抜き通りの整備、輪島港マリンタウンプロジェクトの推進などにより、地域の活力を育みます。

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがいを実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

働く場の確保を図るため、企業誘致を推進するとともに、輪島塗などの伝統的工芸品産業について、販路開拓や後継者育成の支援など、その活性化を図ります。また、多彩な地域資源を活かし、地域の魅力ある資源の産業化、「道の駅」などを活用した特産品の販路開拓を支援します。

農業では、深刻な担い手不足に対し集落営農組織の育成等による担い手の確保に取り組むとともに、「能登大納言小豆」など地域特産農産物の産地化・ブランド化を促進します。林業では、高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産や、県産材加工流通拠点の整備等の取組みを支援します。水産業では、アワビなどの資源管理計画策定による水産資源の回復を推進するとともに、産地市場の統合による集荷力の強化や「加能ガニ」などのブランド化を支援します。

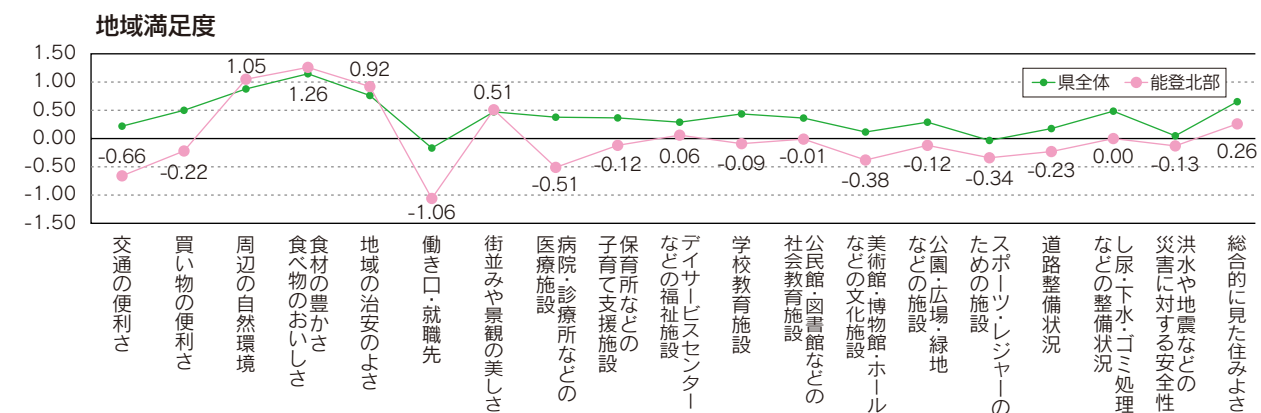
将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

治水対策などのため北河内ダムの建設を進めるとともに、日本海に臨む外浦の豪壮な岩礁海岸と内浦の柔和な沈降海岸など能登の豊かな自然環境の保全や自然とのふれあいを推進します。

医療については、地域医療を確保するため、産科医・小児科医をはじめとする医師不足の解消に努めるとともに、今後不足が見込まれる看護師等の養成・確保を図ります。

また、人口の減少が見込まれる一方で、高齢化率のさらなる上昇が予想されるため、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、ニーズに対応した保健・医療・福祉サービスの充実に取り組めます。



2. 能登中部地域(七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町)

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

能登中部では2015年の人口が対2005年比で14%減と推定されており、この地域の活力を維持向上させていくためには、交流人口を拡大することが重要な対策の一つとなっています。

このため、千里浜なぎさドライブウェイ、能登金剛などの海岸線、キリコ祭りなど、豊かな自然や独自の文化を保存・継承し、観光資源として磨きをかけるとともに、和倉温泉やのとじま水族館などを活用し、観光ブランドの確立や情報発信などにより観光振興を図ります。

また、大水深岸壁や旅客船岸壁の整備による七尾港の交流拠点化をはじめ能越自動車道七尾水見道路、国道249号、国道159号、七尾東IC(仮称)など「ダブルラダー結いの道」整備構想の着実な推進により交通基盤の機能維持・向上を図り、交流人口の拡大を進めます。

さらに、地元のまちづくり活動と連携しながら商業・観光施設と一体となった目抜き通りの整備や地域の資源を利用して、グリーン・ツーリズム等による都市と農山漁村との交流の促進により、地域の活力を育みます。

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがいを実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

地場産業である繊維産業の高付加価値化を図るため、有望他産業との連携を促進し、非衣料分野への進出などを図ります。また、健康や集客交流等のサービス産業の創出、地域の魅力ある資源の産業化、「道の駅」などを活用した特産品の販路開拓を支援します。さらに、古くから貿易港として栄え、現在でも原木の輸入港となっている七尾港における大水深岸壁など港湾施設の整備を進め、原木・木材製品の流通拠点化を図るとともに木材関係事業者等の誘致を推進します。

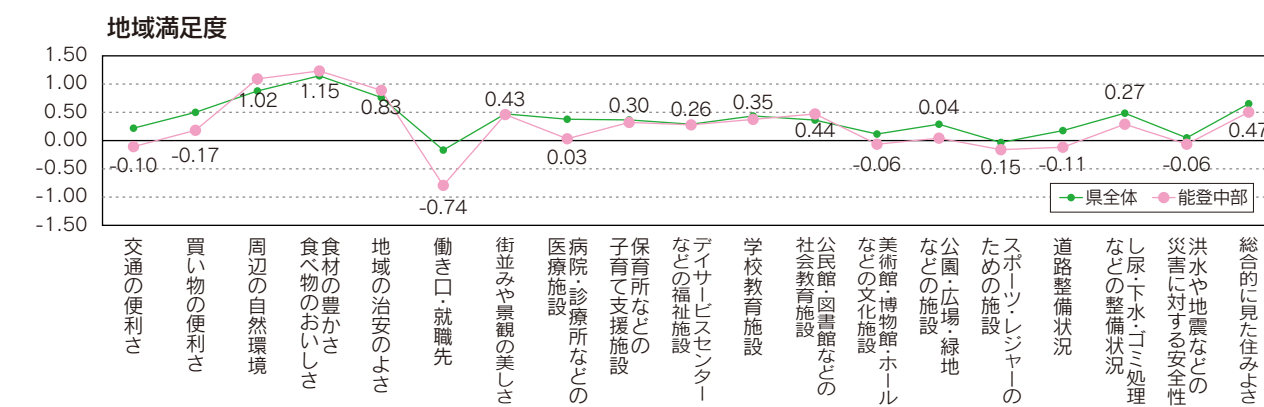
農業では、担い手の育成を加速させるための農地整備の推進や「中島菜」など地域特産農産物の産地化・ブランド化を促進します。林業では、高性能林業機械等を活用した効率的な原木生産の取組みを支援します。水産業では、ヒラメ、アカガイなどの種苗放流などによる水産資源の回復を推進するとともに「天然能登寒ぶり」などのブランド化を支援します。

将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

侵食の著しい千里浜海岸の保全対策を進めるとともに、砂浜から断崖までの多様な海岸など、豊かな自然環境の保全や自然とのふれあいを推進します。

また、引き続き原子力発電所の安全確保や防災対策の充実を図るとともに、地域医療を確保するため、産科医・小児科医の不足の解消に努めます。



3. 石川中央地域(金沢市、かほく市、白山市、野々市町、津幡町、内灘町)

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

兼六園、金沢城公園、伝統的な街並みや様々な伝統工芸などの藩政以来の歴史・文化資源、白山やその眺望などの豊かな自然の保存・継承・更なる活用により、本物を提供する質の高い観光地づくりを進めるとともに、金沢の文化遺産群・白山の世界遺産登録やコンベンションの誘致などに取り組みます。

また、河北縦断道路、金沢外環状道路、金沢福光連絡道路、小松白川連絡道路、白山IC(仮称)など「ダブルラダー結いの道」整備構想の着実な推進により交通基盤の機能維持・向上を図り、交流人口の拡大を進めます。

さらに、県都金沢では、中心市街地の交通渋滞の緩和を図るとともに、パーク・アンド・ライド・システムの推進や新しい公共交通システムの導入可能性について検討を進めます。また、副都心地域については、商業施設や北陸の広域中枢機能の集積を進め、金沢港や金沢駅周辺・都心部と一体となったにぎわいの創出を図ります。

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがいを実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

地域の産学・産業界間の連携強化により、予防型社会創造産業(高度医療機器分野等)や豊かさ創造産業(コンテンツ分野等)の創出に取り組みます。また、個性あるモノづくり企業群の更なる高度化を図るとともに、大水深岸壁の整備、定期航路の拡充などにより、金沢港の国際物流拠点化を進め、広く国内外から港湾活用型企業の立地を促進します。

さらに、加賀友禅、金沢箔などの伝統的工芸品産業について、販路開拓や後継者育成の支援など、その活性化を図ります。

農業では、機械の共同利用組合など既存組織を再編・法人化し安定的な担い手の育成・確保を進めるとともに、すいか、だいこんなど基幹園芸作物の高品質・低コスト化や「金時草」など地域特産農産物の産地化・ブランド化を促進します。また、広域的な農業用水路網の長寿命化や効率的な管理・更新を図ります。さらに、河北潟流域では、減化学肥料栽培や汚濁水の流出防止対策など環境に配慮した農業を推進します。水産業では、市場の統合による漁獲物の集荷力の強化を支援します。

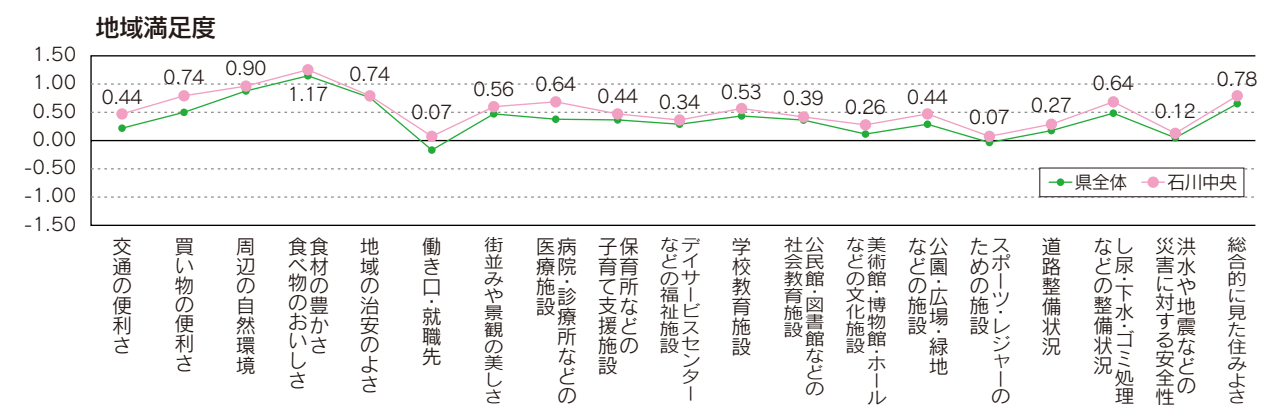
将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

県都を水害から守る犀川の河川改修と辰巳ダムの建設を推進するとともに、特別豪雪地帯における屋根融雪化を促進します。

高齢者への対応については、団塊世代が65歳以上になり急激に高齢者人口が増加し、保健・医療・福祉サービスの増加が予想されることから、ニーズに対応した福祉サービス等の充実に取り組みます。

また、農林業や生活環境に影響を及ぼす野生鳥獣の計画的な保護管理や里山の活動拠点としての夕日寺健民自然園の充実を図ります。



4. 加賀南部地域(小松市、加賀市、能美市、川北町)

将来像Ⅰ 魅力と誇りが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

越前加賀海岸国定公園やラムサール条約登録湿地の片野鴨池、白山眺望などの豊かな自然、山中漆器や九谷焼、加賀橋立の伝統的建造物群、お旅まつりなどの伝統文化を保存・継承するとともに、観光資源として磨きかけます。また、加賀温泉郷における温泉情緒のある街並み整備や個性ある温泉地づくりに取り組むとともに、観光ブランドの確立や情報発信などにより観光振興を図ります。

さらに、小松空港の国際化や物流拠点化の推進をはじめ国道8号、中部縦貫自動車道連絡道路、南加賀道路、小松白川連絡道路、小松空港IC(仮称)など「ダブルラダー結いの道」整備構想の着実な推進により交通基盤の機能維持・向上を図り、交流人口の拡大を進めます。

将来像Ⅱ 活力ある産業と働きがいを実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

いしかわサイエンスパークを核に産学・産業界間の連携強化による新産業の創出に取り組むとともに、地場産業である繊維産業の高付加価値化を図るため、有望他産業との連携を促進します。また、機械産業を中心とする、設計から組立までの一貫した生産体制を提供できる世界に冠たる「モノづくり拠点」の構築を目指します。さらに、九谷焼、山中漆器等の伝統的工芸品産業について、販路開拓や後継者育成の支援など、その活性化を図るとともに、多彩な地域資源を活かし、地域の魅力ある資源の産業化を支援します。

農業では、温泉・観光と連携した地産地消を進めるとともに、トマト、ブロッコリーなど基幹園芸作物の産地マーケティングに基づく売れる商品づくりや環境へのこだわり農業への転換を促進します。林業では、県産材加工流通拠点の更なる活用により採算性の向上を図り、水産業では、「加能ガニ」などのブランド化を支援します。

将来像Ⅲ 暮らしやすさが実感できる「いしかわ」

◆ 施策の方向性

治水対策として柴山瀧の河川改修(堤防建設)を推進するとともに、地域医療を確保するため、産科医・小児科医の不足の解消に努めます。

また、小松空港周辺における騒音の常時監視など生活環境の保全を図るとともに、農林業や生活環境に影響を及ぼす野生鳥獣の計画的な保護管理に取り組みます。さらに、越前加賀海岸国定公園等の豊かな自然環境の保全や自然とのふれあいを推進します。

